

## 第 9 回近畿本部協賛団体特別セミナーのご案内

### テーマ 「技術士が考える A I 時代の働き方と規制」

公益社団法人日本技術士会近畿本部  
協賛団体強化委員会

現在の我が国は、少子高齢化による労働人口の減少により、「生産性向上を伴った働き方改革」が大きな課題となっている。また、コロナ禍により加速した「リモートワーク」の活用や、個人のパフォーマンス向上に配慮した「オフィス改革」など、働く環境の進化や変化とともに、生成 AI、IoT、ロボット、DX など、仕事における人の役割を変えうるテクノロジーの変化も目覚ましい。その一方で、「技術者倫理」やデジタル社会での「セキュリティ」、今後検討が深まるであろう「AI に関する規制」など、その快適さの裏側に必要な「制約」や「ルール」も見逃せない。このような社会変化の中、まさに「働き方」をどう最適化するかが、企業の生き残り戦略として重要になってきている。今回のセミナーでは「技術士が考える A I 時代の働き方と規制」と題して、協賛団体と技術士会が情報を共有するとともに、交流会を設けて顔の見える関係を図ります。

- 開催日時：2024 年 2 月 1 日(木) 13:30～17:00
  - 会場：大阪科学技術センター8 階小ホール（大阪市西区靱本町 1-8-4）（WEB オンライン開催併用）
  - 主催：公益社団法人日本技術士会近畿本部 協賛団体強化委員会
  - プログラム ※CPD 2.7 時間
- 13：30～13：35 開会挨拶 近畿本部長 田岡 直規
- 13：35～14：15 講演①「AI と IoT がもたらす仕事の変化」  
講師：川本 康貴氏（技術士（情報工学） 近畿本部情報工学部会）
- 14：15～14：55 講演②「AI 時代における規制等の遵守と技術者倫理の実践」  
講師：細谷 陽三氏（技術士（金属） 近畿本部倫理委員会 副委員長）
- 14：55～15：35 講演③「どうしたらいいの「働き方改革」」  
講師：福富 昇氏（技術士（経営工学） 統括本部経営工学部会）
- 15：35～15：45 休憩（10 分）
- 15：45～16：30 パネルディスカッション  
テーマ AI／働き方／技術者倫理
- 16：30～16：55 交流会
- 16：55～17：00 閉会挨拶 近畿本部協賛団体強化委員会 委員長 森野 善広  
「閉会後懇親会を予定（会場は未定、参加費 5,000 円程度）」

#### ■ 対象、参加費、申込方法

- (1) 対象：協賛団体会員様、技術士および一般参加者（非会員・一般は会場参加のみとなります）
- (2) 参加費（資料代含む）：協賛団体会員様 無料、日本技術士会会員 1,000 円、非会員・一般 2,000 円  
会場参加：当日 WEB 参加の方は一括引落
- (3) 定員 会場 40 名 WEB100 名 ※先着順
- (4) 申込：近畿本部ホームページからお申込みください  
会員・協賛団体区分の方：「技術士 CPD 行事申込一覧（新システム）」  
<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>  
協賛団体会員・非会員・一般の方：<https://forms.gle/LiNHad1NVK6zZmHF7>
- (5) 申込期限 2024 年(令和 6 年)1 月 25 日（木）

問合せ先 公益社団法人日本技術士会近畿本部 事務局  
TEL：06-6444-3722 E-mail：[pe@ipej-knk.jp](mailto:pe@ipej-knk.jp)

### 講演①「AI と IoT がもたらす仕事の変化」



Society5.0 が展開する未来社会における AI と IoT の重要性和、これらの技術が働き方に与える影響を探ります。コンピュータが単なる計算ツールだった時代から始まり、IoT が創り出した Society4.0、そして AI とクラウドによって形成される Society5.0 への技術進化の流れを追います。こういった流れの中で、これらの技術が社会全体、特に企業経営に与える影響や仕事のあり方についても掘り下げます。この講演を通じて、AI と IoT が開く新時代の働き方と社会構築について深く理解し、新たなビジネスの可能性を探求することを目指します。

講師：川本 康貴氏

### 講演②「AI 時代における規制等の遵守と技術者倫理の実践」



欧米や日本の AI 規制の動向（包括的規制、安全性確保、偽情報・機密情報対策、情報開示義務、など）を踏まえて、日常業務にも深く関係するチャットGPT（生成 AI の一種）を取り上げ、利用時の注意事項（偽情報の拡散（入力と出力への対応）、著作権侵害の懸念（倫理的な対応）、利用者の学力・実力低下（学習阻害の防止）、など）を説明し、「真実性の確保」の技術者倫理の実践例として、AI の入力・出力時の著作権法遵守と AI 学習時に留意すべきことなどを考察します。

講師：細谷 陽三氏

### 講演③「どうしたらいいの「働き方改革」」



労働人口減少による深刻な人手不足と、新型コロナ禍を発端としたテレワークの普及に伴い、働く環境や働き方が様変わりしてきました。2019年に「働き方改革関連法」が施行され、“働き方改革”をどう実現していくかが企業の喫緊の課題となっています。“働き方改革”で企業に求められることや“働き方改革”を成功させるための条件および成功事例について述べます。

講師：福富 昇氏